

全高長 第19号
令和2年 6月24日

都道府県校長会教育課程研究担当校長 様

全国高等学校長協会会長 萩原 聡
(東京都立西高等学校長)

同 教育課程研究委員長 丸橋 覚
(群馬県立高崎北高等学校長)

令和2年度 教育課程研究委員会における研究協議主題
並びに主題に係る調査資料作成について (依頼)

全国高等学校長協会(全高長)教育課程研究委員会の研究推進につきましては、日頃から多大なご協力をいただいております、感謝申し上げます。

さて、各都道府県の高等学校等におかれましては、昨年度末から広がりを見せている新型コロナウイルス感染症の影響の拡大に伴い、未曾有の対応に追われていることと思っております。

本委員会では、2022年度から年次進行で実施される新学習指導要領に関する研究を展開しておりましたが、今般の緊急事態において、一刻も早く、生徒の学習環境の整備を進めなくてはならない状況であることを鑑み、今年度は、各都道府県における「新型コロナウイルス感染症への対応」について、先進的あるいは特色ある取組を進めている学校の具体例を全国に情報提供することといたしました。

本委員会としては、各地で現在進行中のコロナ禍における喫緊の課題に対し、教育課程の工夫を中心に、各都道府県の校長先生方がどのように立ち向かって行かれたのか実践事例や課題に対する考え方等をご報告いただき、会員の皆様の参考となるような調査研究を目指します。また、2020年はオリンピックイヤーからコロナ禍の年へと一変したことにより、この年に何が起こり、全国の校長先生方がどのように奮闘されたかを記録しておくことは、大変意義があるとも考えております。

既に今年度の研究協議主題(案)について準備を進めていただいている各都道府県の皆様方には大変ご迷惑をおかけしますが、調査研究を行う主管県での会議を持つことが難しい状況もあり、臨時的措置として対応させていただくことをご了承いただき、何とぞご理解・ご協力を賜りたいと存じます。

前例のない対応が求められている状況でありますので、調査研究を行う主管県といたしましても効果的な質問事項を設定することが難しいのが現状です。回答に際しましては、調査項目の枠組みから外れても結構ですので、独自の先進的あるいは特色ある取組について情報提供をいただけると幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。

令和2年度 研究協議主題

「新型コロナウイルス感染症への対応」について

次の質問事項を設定しましたので、別紙「回答例（群馬県）」を参考に、貴都道府県でそれぞれの項目で先進的あるいは特色ある取組を進めている高等学校等に調査をご依頼します。調査校におかれましては、3ページに記載の「回答の作成に当たってのお願い」に従い、ご回答くださるようお願いいたします。

「新型コロナウイルス感染症への対応」について

貴都道府県高等学校等の普通科及び普通科以外の高等学校等の中から、それぞれ各1校、計2校を取り上げ、次のア、イについて具体的な内容をお答えください。

なお、①～⑤について特段の記述内容がない場合は、記述しなくて結構です。

ア 臨時休業中及び学校再開後の取組概要

① 教育課程

・教育課程編成

(年間指導計画・学校行事の見直し、分散登校の方法、時間割、定期考査、長期休業短縮、補習等)

・授業展開

(ICTやオンライン等を活用した特色ある授業等)

・学習支援

(ICTやオンライン等を活用した学習教材の充実、家庭学習課題の周知・配布・評価等の工夫等)

・生徒とのつながり

(オンラインホームルーム、生徒の在家庭状況調査、生徒同士の情報共有等)

・探究活動の工夫

(コロナ禍における外部人材の活用、外部との連携等)

② 教員の指導力向上

(教員のスキルアップ、教員相互の情報共有、教員研修等)

③ 組織マネジメント

(コロナ対策として設けた校内組織、学校全体としての情報共有、情報発信、Webページの活用等)

④ 施設設備

(ICT環境整備、オンライン授業、動画配信、家庭でのICT環境整備、感染防止対策等)

⑤ その他

(コロナ禍で校長として大切にしている考え方、コロナ禍だからできたこと・気付いたこと等)

イ 今後の課題

(ポストコロナに向けての取組等)

回答の作成に当たってのお願い

1 回答の仕方

今回の調査は、新型コロナウイルス感染症への対応として、教育課程の工夫を中心に、各都道府県の学校における先進的あるいは特色ある取組の具体例を全国に情報提供し、ポストコロナに向けて各校のさらなる課題解決に資することを目的としています。

回答に当たっては、各都道府県で先進的あるいは特色ある取組を進めている高等学校等に調査依頼をしていただき、それらを各都道府県で取りまとめて回答してください。

なお、群馬県の回答を例として添付していますので、参考にしてください。各高等学校等の回答の最後には、必ずHPのアドレスを掲載していただくようお願いいたします。

2 回答様式

- (1) 回答は、調査項目ごとに各校A4片面1枚（MS明朝体で文字サイズ11.0ポイント）とし、群馬県の回答例を下記ホームページからダウンロードして様式としてご利用ください。

全高長URL <http://www.zen-koh-choh.jp/>

（回答の送付先は、下記の e-mail アドレスですのでご注意ください。）

- (2) 回答の添付ファイル名は、「**令和2全高長教育課程回答（都道府県名）**」としてください。

3 回答送付先

下記の2か所宛、e-mail の添付ファイルにて送信してください。

- (1) 群馬県立高崎北高等学校長 丸橋 覚 （問合せ 電話 027 - 373 - 1611）

e-mail アドレス marubashi-sat@edu-g.gsn.ed.jp

- (2) 全高長本部事務局 （問合せ 電話 03 - 3580 - 0570）

e-mail アドレス kyoukai@zen-koh-choh.jp

4 回答の締切り

令和2年 7月22日（水）

5 その他

- (1) 9月25日（金）に東京で開催する教育課程研究協議会当日には、印刷した資料を持参する必要はありません。
- (2) 7月22日（水）に回答が間に合わない場合は、事前に上記 **3（1）**までご連絡ください。